

生鮮ブロッコリーで機能性表示届出と今後の展開

株式会社アイファーム
生産部 南波陽平

弊社では、令和3年2月に生鮮ブロッコリーで全国初となる機能性表示を取得しました。その後も成分分析を継続して実施し、当該商品の販売期間の延長を目指してきました。また、新たな成分や機能に着目し、生鮮ブロッコリーの機能性表示商品としてシリーズ化を目指す取り組みを県の機関にご支援頂きながら実施しています。

具体的には、県農業技術研究所にて成分分析を実施頂き、県立大にてSRを作成頂き、フーズ・ヘルスケアオープンイノベーションセンター及び専門家派遣事業にて届出のご指導をいただきました。

シリーズ化に向けた取り組みの概要と進捗状況を発表します。

NEXT FARM ～植物工場を核とした新たな農業の創造～

株式会社 ファームシップ
事業開発 P T 山崎 陽平
事業開発 P T 岡本 元

弊社は「農と食の未来を創造」を主眼に植物工場に係る全方位的なビジネスを展開しております。それは「持続可能な社会形成」の為には重要なものであり、既に国内外から多くの反響を頂いております。創業以来、全国各地で植物工場稼働に成功し世界最大級のネットワークを構築しております。それに加えて今般、新たな取り組みとして静岡県沼津市に「ブロックファーム沼津」の開設を計画しております。そこでは長い年月をかけて研究した成果として「ホウレンソウ栽培」を行います。また、それだけでなく再生可能エネルギー（太陽光）の活用も行います。

「NEXT FARM」の実現に向けてより一層のチカラを発揮して参ります。

農業分野におけるテクノスルガ・ラボの取り組み

株式会社テクノスルガ・ラボ
技術・製品開発部 久田 貴義

当社は微生物同定を基礎とした受託分析会社であり、環境中の微生物情報を調べることで農業に貢献したいと考えています。

2018年より『栽培環境評価受託サービス』を研究開発テーマとし、主にトマトの栽培環境中の微生物相を調べ、病原菌のモニタリングや発生予知情報を提供することを目指しています。その頃からAOI-PARCに入居し、トマトの栽培試験を実施させていただきました。

2020年より『微生物資材の評価、開発と製品化』を開発テーマとし、植物病原菌に対する拮抗微生物、生育促進微生物を探索、研究をしています。

農業分野での実際のニーズを聞き取りながらサービス化について、具体化出来るように取り組んでいます。

再生可能エネルギーを活用した食料システムの構築

萬寿企業株式会社
執行役員 菊川 宗弘
橘高 康宏

地球温暖化による環境負荷が増大し、SDGsにて目標設定されているカーボンニュートラルに関する取組が重要視されているなか、環境調和型ソーラーシアリングの普及はあまり進んでいないのが現状である。

この現状を打開すべく、新たなソーラーシアリングシステムによる営農体系の構築及び、データの蓄積による新規就農者の参入障壁の低減等新たな農業環境の構築を目指し、AOI機構様と沼津高専様の協力を得て実証実験に取り組んでいます。
